

2024年取組一覧(アフリカ)

ザンビア

天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本企業製品PR

ジブチ

天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本企業PR

ナイジェリア

天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本企業製品PR

モーリシャス

天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本企業製品PR

モザンビーク

ハイブリッドカーの導入促進

【日本企業広報】

天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本企業製品PR(ザンビア)

開催日: 令和6年3月6日

場 所: 在ザンビア大使公邸

主 催: 在ザンビア日本国大使館

参加企業: ザンビア進出日系企業、日本製品取扱代理店等13社

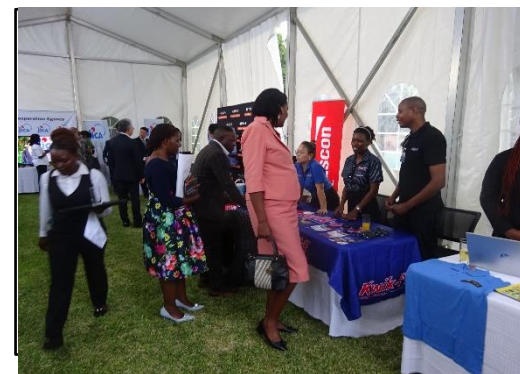
在ザンビア大使館

【概要】

● 天皇誕生日祝賀レセプションの機会を活用し、当地進出の日本企業及び日本製品取扱代理店に加え、南アフリカ駐在の日本企業、またザンビアで過去に事業実績のある日本企業も日本から出張ベースで来訪し、各社が最新の商品や四輪車・二輪車等の展示を行った。またインスタントカメラでその場で来場者が写真を受け取るサービスも好評を博していた。

● 日ザンビア外交関係樹立60周年の本年は、当地政府関係者(主賓: 水開発・衛生大臣)、各国外交団、国際機関関係者、両国のビジネス、大学、スポーツ分野から約250名の来場があり、各企業の展示ブースは多くの人で賑わい、効率的な対外発信の機会となった。

● 当館からは、日本酒及び梅酒の試飲ブースを設置し、当館館員が直接、数種の銘柄を説明しつつ来場者に提供した。また日本酒をベースとしたカクテルも提供し、多様な日本酒の飲み方を紹介し、来場者に大好評であった。



【日本企業の広報】

天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本企業PR(ジブチ)

開催日： 令和6年2月28日

場 所： 在ジブチ大使公邸

主催(共催)：大使館

協力／参加企業・自治体：TOPPAN Gravity社

在ジブチ大使館

【概要】

- 天皇誕生日レセプションの機会を利用し、周辺国の日本企業に来訪を呼びかけ、日本企業ブースを設置し、日本企業の製品(ポリカーボネート基材を使用したパスポート、IDカード及びクレジットカード)のPRを実施した。
- 当地政府関係者(投資・民間部門)、外交団、各国軍関係者、報道関係者等、192名が来訪した。
- 現地La Nation紙には、「JICA、自衛隊、日本のTOPPANグループのグループ企業であるTOPPAN Gravityの展示を通じて、日本の活動が紹介された。」と報道された。
- 当地における経済界の有力者(ジブチ商工会議所会頭等)に製品を直接紹介し、日本が持つ洗練された技術についてアピールする機会となった。



【日本企業の広報】

天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本企業製品PR（ナイジェリア）

開催日： 令和6年3月14日

場所： トランスコープ・ヒルトンホテル（アブジャ）

主催： 在ナイジェリア日本国大使館

参加企業： 久光製薬、NEC、大塚製薬（テスト販売中）、ダイキン（正規代理店）、INTMAX、Asia Africa Investment Consulting Nigeria Ltd.、Taiyo International Foundation

在ナイジェリア大使館

【概要】

- 当館主催の天皇誕生日祝賀レセプションの実施に併せて、会場内に、当地で活動する日本企業の展示スペースを確保。大塚製薬の飲料（当地でテスト販売中のポカリスエット）の試供品提供、令和6年4月からサロンパス販売を開始した久光製薬の試供品提供、INTMAX社の暗号通貨技術説明展示、ダイキン（正規代理店）による家庭用空調機等の製品展示、NEC社のAIスマート農業技術説明展示、Taiyo International Foundation社の還元水生成器展示及びAsia Africa Investment Consulting Nigeria Ltd.社が10×10ブランドで展開するウィッグの展示を行った。
- ナイジェリア政府関係者、当地各国外交団や国際機関関係者を中心に476名の来場者があり、各企業の展示品の周辺は多くの人で賑わっていた。

【評価・結果】

- 日頃アブジャに拠点を持たないラゴス駐在の日本企業の製品等を、当地政府関係者や外交団関係者に対外発信する良い機会となった。参加企業からも、500名近い来場者に対して自社製品をアピールすることができ、製品紹介及び販路拡大にあったても良い契機となったといった声が寄せられた。
- レセプション来場者の中には、展示品に関心を示し、各企業ブースの関係者に製品について熱心に照会を行う人も数多く見受けられた。



ダイキン（正規代理店）



INTMAX

【日本企業の広報】

天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本企業製品PR(モーリシャス)

在モーリシャス大使館

開催日： 令和6年2月29日

場 所： 在モーリシャス大使公邸

主催： 大使館

協力／参加企業・メーカー名 TOYOTA自動車、日産自動車、三菱自動車、マツダ、スズキ、ヤマハ、カワサキ、商船三井(順不同)

【概要】

●天皇誕生日レセプションの機会を活用し、当地進出日本企業及び日本製品の展示を行いPRを実施した。

●当地政府要人(ルーパン大統領、ボワセゾン副大統領、オビガドゥ副首相、ガヌー外相代理等)、外交団、財界要人、報道関係者等、約251名の来訪者があった。

●菅大使が閣僚をはじめとした政財界の要人を企業展示に案内し、企業担当者から活動や商品を直接紹介する機会を提供した。

●日本食のライブデモンストレーション(天ぷら・寿司)を実施。観光立国であるモーリシャスへ和食の普及を行った。また、会場内に日本酒及び日本産ウイスキーの試飲コーナーを設置し広報を行った。



日本車の展示



日本製品の展示



和食コーナー

【日本企業の広報】 ハイブリッドカーの導入促進（モザンビーク）

実施日： 令和6年6月3日、6月4日、6月5日、7月1日、7月3日、8月28日

主催：在モザンビーク日本大使館

関連企業：CFAOモーターズ・モザンビーク

在モザンビーク総領事館

【背景】

- 2023年11月、ニュシ・モザンビーク国大統領は、ドバイで開催されたCOP28で発表した同国エネルギー転換戦略の中で、温暖化ガスを削減し、環境汚染の影響を減少できるEV車およびハイブリッドカーのモザンビーク市場への導入を進める方針を発表。他方で、EV車およびハイブリッドカーは、モザンビークにおいて贅沢品とみなされ、一般のガソリン車に比べて高い税率が課せられている。
- 当館は、トヨタ車を扱うCFAOモーターズより、同税制の見直しに関するモザンビーク税務当局への相談の依頼を受けていた。また、マツダ車など他自動車メーカーの取引先からも同様の相談を受けていた。

【在外公館の対応】

- 6月4日、本使はCFAOモーターズ・モザンビークからの招待に応じ、トヨタギャラリー（新販売ショールーム）開所式に出席した。マテウス・マガラ運輸通信大臣のスピーチでは、同国エネルギー戦略転換戦略に基づき、環境負荷の少ない自動車の市場導入促進を目指す方針が示された。
- 6月3日、WTO貿易政策検討機関（TPRB）モザンビーク審査会合に向けての提言内容を、CFAOと協力の上作成し、6月5日提出した（同提言は、環境に優しい自動車の税制見直しが含まれている。HEV・PHEV・EV各車種に有利な税制を導入し、これらの車種の採用を促進し、環境の持続性に貢献するものである）。

【結果】

- 7月1日および3日、在モザンビーク大使館提言が、TPRBモザンビーク審査会合に提出された。8月28日、モザンビーク政府（商工省および経済産業省）から、「申し入れは承知した。2025年における自動車の特定消費税（Specific Consumption Tax Codes (ICE)）、付加価値税（Value Added Tax (VAT)）および輸入関税の見直しに際し、特別に留意して見直しを行う。」旨の回答を得た。
- 上記をCFAOモーターズに伝えた。CFAOより、「大変参考になり、感謝申し上げる。今後の政府関係者との協議結果を見守り適宜報告する」旨回答があった。



6月4日、トヨタギャラリー開所式

（写真：向かって左よりCFAOモーターズ本社社長、CFAOモザンビーク社長、マガラ運輸通信大臣、本使、フランス大使）